

報道関係各位



## 農業を起点とした関係人口創出のための交流イベントの開催について

農業を起点として本県に愛着を深めてもらうための交流イベントを下記のとおり開催しますので、取材して下さるようお願い申し上げます。

本イベントは、旅行と農作業従事を融合させた「アグリツアー」及び農作業支援を通じた企業等の社会貢献や組織内活性化を目的とした「アグリワーケーション」の参加者を対象に実施するものです。

### 記

#### 1 交流イベント

##### (1) 「農村交流イベント」

日 時	令和7年6月11日(水) 10:00~14:30 (受付開始9:30)
場 所	尾花沢市細野地区(集合場所:尾花沢市文化体育施設サルナート)
内 容	「アグリツアー」参加者向けの尾花沢市内観光及び地元住民との交流 ・柿渋染体験 ・花笠おどり体験 ・農家レストラン『蔵』での食事 (詳細は別添1参照)

##### (2) 「農を起点とした県内外の異業種交流会」

日 時	令和7年6月20日(金) 10:00~14:00 (受付開始9:30)
場 所	山形県郷土館 文翔館
内 容	「アグリワーケーション」の参加企業(県外6社、県内6社)の交流会 ・第1部:参加企業の事例発表 ・第2部:参加企業の交流会 (詳細は別添2参照)

#### 2 参考

本事業は、山形県、全国農業協同組合連合会山形県本部(JA全農山形)及び株式会社JTBの三者連携協定(別添3参照)の一環として実施するものです。

#### 【お問い合わせ先】

<p>○ 事業の全体概要について 農林水産部農業経営・所得向上推進課 課長補佐(農業経営担当) 武田 公智 TEL: 023-630-2286 広報監 農林水産部次長 小泉 篤</p>	<p>○ 各事業・イベント等の詳細について JA全農山形 営農企画部 営農支援課 佐藤 大輔 TEL: 023-634-8134 株式会社JTB 広報室 TEL: 03-5796-5833</p>
--	--

以上

2025年6月11日 水



「地域づくり表彰」国土交通大臣賞受賞

「豊かなむらづくり表彰」農林水産大臣賞受賞

ほその村

# 農村交流イベント

ほその村(イメージ)



参加費無料

さくさんぼ作業  
参加者限定

## 行程表 ~~~

9:10頃：  
宿泊施設 発

10:00頃：  
尾花沢観光

徳良湖遊覧とすいか畑見学  
※雨天または強風の場合には  
明光寺棚田車窓観光となります。

11:30頃：  
農村交流イベントと昼食

農家レストラン『蔵』にて、  
田舎御膳の昼食をお楽しみください。

13:00頃：  
柿渋染体験

柿渋染体験をお楽しみください。

14:00頃：  
花笠おどり体験

山形県の伝統芸能「花笠おどり」の  
由来ついて説明の後、花笠おどりを  
踊ります。

14:30頃：  
ほその村 出発

15:10頃：  
宿泊施設 着

※出発地・出発時間の詳細は後日連絡いたします。

特別な資源がないところからの懐かしいふるさとも感じさせる取り組みが評価され、令和4年度国土交通大臣賞、令和6年度農林水産大臣賞を受賞した「ほその村」での地元の方との農村交流イベントをご用意いたしました。ガイドブックには載っていない山形を体験し、素敵な一日をお過ごしください。

### 体験 柿渋染体験

柿渋染めは平安時代より用いられた手法です。アトピーやシックハウスと呼ばれる化学物質による弊害を起こさない多機能な塗料です。



(イメージ)

### 体験 花笠おどり体験

山形県の伝統芸能「花笠おどり」の由来のお話の後、一緒に花笠おどりを踊ります。



(イメージ)

### 昼食 農家レストラン『蔵』

村の大きな収入源となっている「ふるさと定期便」のご紹介、村で開発された、干柿を副原料としたクラフトビールの試飲など、地元の方とのふれあいの時間をお楽しみください。



田舎御膳(イメージ)

# 農を起点とした県内外の 異業種交流会

## 日時

### 2025年6月20日(金) 10:00～14:00 (受付9:45～)

山形県では2023年度より、全農山形とJTBと連携し「元気な農業人材確保プロジェクト事業」を実施しております。ポストコロナを見据え多様な人材を山形県に呼び込み、農作業受委託の仕組みを活用し農業や地域につなぐモデル事業を展開します。また、農業を起点として、観光・産業等が連携したオール山形の体制で農業労働力不足を解消するとともに、関係人口の創出・拡大による地方創生を目指します。今回、「アグリワーケーション（さくらんぼ収穫調整作業×社員研修）」に参加いただいた企業の代表者を異業種交流会にお招きし、県内企業との異業種交流会を実施することにより、山形の企業や魅力を知っていただき新たなビジネスチャンスへの発展や産業活性化を目指します。

※プログラム内容は変更になる場合もございます

## 第一部 会場

レンガ造りの国指定重要文化財

### 山形県郷土館「文翔館」

山形県郷土館(愛称「文翔館」)は、1916年(大正5年)に建てられた英国近世復興様式の建物。1975年(昭和50年)まで県庁舎及び県会議事堂として使用。



※写真はすべてイメージです

参加企業 (予定) ※順不同

東日本旅客鉄道株式会社・日本航空株式会社・三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
くるま旅クラブ株式会社・デロイトトーマツコンサルティング合同会社・共栄火災海上保険株式会社  
山形信用金庫・山形国際ホテル・三恵商事株式会社・藤庄印刷株式会社  
株式会社チェリーランドさがえ・株式会社ヒト・コミュニケーションズ

## 〈施設見学〉

9:00	ボランティアガイドによる文翔館見学
9:40	終了後、受付

## 〈第一部/発表〉会場：文翔館

10:00	開会・開会のあいさつ
10:10	事業概要と今後の展望について
10:20	日本航空株式会社 ～農業支援を通じた新たな拡がり～
10:45	くるま旅クラブ株式会社 ～車中泊旅が出来る地域活性化について～
11:05	休憩・名刺交換
11:20	企業紹介 (※調整中)
11:45	まとめ (総評)
11:50	第一部 閉会のあいさつ

## 〈第二部/交流会〉会場：紅の蔵

12:30	乾杯のあいさつ
12:40	～フリー歓談
13:00	参加企業紹介
14:00	閉会

# 農業と観光との連携による農業人材創出に関する連携協定の概要

※別添資料3 令和7年6月  
山形県 農林水産部

○ 本県では、令和5年度から、農業労働力不足の解消と、農を起点とした交流人口の拡大等を目的とした「元気な農業人材確保プロジェクト」の展開を予定しており、山形県、JA全農山形及びJTBの相互連携と協働による三者協定を締結し、プロジェクトの推進体制を強化する。

## 連携協定の概要

### 三者連携協定の枠組み



- 締結日  
令和5年3月22日(水)
- 協定期間  
令和9年3月31日まで  
(延長の可能性あり)

### ○ 協定の趣旨・目的

農業人材の確保をはじめとする本県農業の課題の解決及び農を起点とした関係人口の創出のための連携強化を図るもの。

### ○ 主な協定項目

- ・首都圏等からの農業に関心のある企業、人材の**本県への呼び込み**
- ・農作業委託のニーズ把握と多様な人材との農作業受委託の調整
- ・首都圏の人材等と**県内の農業・他産業との交流促進**
- ・県産農産物等の地域資源やイベント情報の広報誌、SNS等による周知
- ・農作業体験や農業者等と交流する旅行商品造成

など

農を起点として人材を呼び込む新たなツール

### アグリワーケーション

企業・社員 ～社員のワーケーションの合間に農作業に従事～



- ・CSR,SDGs,健康経営等で地方と連携
- ・社員教育による人材育成
- ・異業種交流でのビジネスチャンス開拓
- ・自由で多様な働き方の実現

メリット

- 農業を通じた地域貢献によるCSRの実現
- 現場感覚や新たな視点を持つ人材の育成
- 従業員の心身のリフレッシュ、生産性の向上、健康経営の実現

### アグリキャンプ

部活・企業のスポーツチーム ～合宿のついでに農作業に従事～



- ・合宿を通じたチームビルディング
- ・合宿費用、活動費の確保
- ・合宿先でしかできない経験

メリット

- 空き時間の農業従事で活動費の獲得
- 農作業体験を通じたチームワーク醸成

### アグリツアー

観光客 ～旅行メニューとして農作業を体験～



- ・山形の魅力を感じられる旅行
- ・農業、農村暮らし体験への憧れ
- ・より充実した旅行、満足感

メリット

- 旅行+ついでに農業従事で賃金を獲得
- 旅先でしか得られない体験や交流

## 協定締結による具体的な取組み

### 農作業受委託モデルの構築



### 県内外の異業種交流機会の提供

- ・農や食、SDGs等をテーマにした県内企業との交流会の開催
- ・「スタートアップステーション・ジョージ山形」を活用した異業種交流の創出や、コワーキングスペースの提供

### やまがた暮らし・農村暮らし体験

農作業体験+農村や地域の魅力を体感できる交流イベントの開催

### 主な役割

#### JA全農山形

- ・県内農家の作業委託ニーズ取りまとめ
- ・農家との作業内容調整

#### JTB

- ・首都圏等から多様な働き手を呼び込み
- ・労働者を雇用、作業チームを編成し農作業を受託

#### 山形県

- ・プロジェクトの推進、調整
- ・多様な人材と他産業等との交流の場の提供

### 目標

#### ○ 農作業受委託の参加延べ人数

(R4実績) 2,141人日→(R5) 3,000人日→(R6) 5,000人日→(R7) 7,000人日→(R8) **10,000人日**

### 期待される効果

#### 波及効果

- 多様な人材の活用による、**自走できる農作業受委託モデルの実証・構築**
- 農を起点とした **関係人口の増加**
  - 関係人口の増加により → ○ 企業の農業分野への新規参入
  - 若者などの新規就農の増加
- ・異業種交流による企業活動の活性化、ビジネスチャンス創出
- ・関係人口やリピーター観光客の増加による山形ファンの形成
- ・交流人口の拡大による農村集落の活性化